

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	市民生活部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	生活文化課
	基本施策	6	交通・地域安全の推進		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	道路を利用するすべての人々のマナーアップを図るため、運転者や歩行者、年代別など対象にあわせた交通安全教育を推進し、学校、地域、企業などと連携して地域ぐるみの活動を行い、交通安全意識を高め、飲酒運転根絶のためのハンドルキーパー運動に取り組む。防犯意識を高めるため、広報、啓発活動を推進し、防犯活動に市民とともに取り組む。また、防犯灯等の整備を進め、犯罪のないまちづくりを進める。 悪質商法防止や消費者における様々な契約トラブル解消のために啓発や出前講座の充実を図る。また多重債務問題における相談窓口の周知の徹底や相談体制の充実を図る。 本市の交通事故原因は、安全運転マナー欠如が半数近くを占め、高齢者の死者も多い。これらの事故防止対策に加え、飲酒運転に対する意識啓発及びマナー向上が課題である。さらに、本市でも子どもや女性に対する声かけなどの事案が発生しており、市民の防犯意識を高め、地域の治安向上に努める必要がある。 悪質商法や詐欺、インターネットを介した契約トラブルなどが急増する中、市民の消費に関する諸問題の知識取得と意識の高揚は喫緊の課題である。また、多重債務問題の深刻化は自殺等の被害を生むだけでなく、家庭内暴力等の原因ともなり、その解決に対処する必要がある。 多重債務問題解決については、相談窓口での受理件数が減っている状況であるが、県や県弁護士会・司法書士会と連携し、無料法律相談等の対策がきている。また、出前講座については、高齢者向けに加え、中学生向けの講座を開催し、予防教育等啓発を図った。			
施策の現況と課題					
評価	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等					

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	地域安全対策事業		課名	生活文化課
事業費(千円)	27,603	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	消費生活対策事業		課名	生活文化課
事業費(千円)	7,120	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業				
事務事業名			課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方			
事務事業名			課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方			

指標名		指標に設定した理由				
①	防犯灯の維持管理基数	地域の安全安心を確保する。				
②	出前講座開催回数	悪質商法による被害の防止と賢い消費者の育成につながる。				
③						
目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	11,907	11,880	12,079	12,668	
	実績値	11,730	11,929	12,168		
	達成度	99%	100%	101%		
②	目標値	回	5	5	17	24
	実績値	回	5	5	17	高齢者・中学校講座
	達成度		100%	100%	100%	
③	目標値					
	実績値					
	達成度					

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	環境森林部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	環境政策課
	基本施策	6	交通・地域安全の推進		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	市民が快適に、そして安全・安心に暮らせる住環境の整備のため、地域安全の推進に努める。			
	施策の現況と課題	狂犬病予防注射済票交付及び狂犬病予防注射済票交付手数料徴収事務委託については、飼主の狂犬病予防注射回避を防止し、注射件数を増やし、市民の安全・安心に寄与することが求められている。			
評価	狂犬病予防注射については、これまで市内において狂犬病の発生はなく、当初の目的は達成していると評価できる。				
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等	予防注射の徴収事務のみでなく登録まで一連して実施することで、未登録犬を減らすことができる。				

指標名		指標に設定した理由					
①	狂犬病発生件数	狂犬病予防のために接種するものであるため					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	件	0	0	0	0	/
	実績値	件	0	0	0		
	達成度		100%	100%	100%		
②	目標値						/
	実績値						
	達成度						
③	目標値						/
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	狂犬病予防事務及び都城市狂犬病予防手数料徴収事務委託事業			課名	環境政策課
事業費(千円)	507	評価	現状維持	施策への貢献度	普通
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業					
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)			施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方				
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)			施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方				
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)			施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方				

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	土木部	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	道路公園課 維持管理課	
	基本施策	6	交通・地域安全の推進			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	歩行者や運転者が安全で安心できる道路環境の整備を進め、市民が生活の利便性、快適さや安全性を享受できるよう、道路などの都市基盤に配慮しながら、良好な交通環境をつくり、交通安全意識の向上に寄与する。				
	施策の現況と課題	事故が予想される危険箇所も多く、特に、自転車、歩行者などの交通安全施設をさらに充実させる必要がある。 また、本市の交通事故は、発件数、負傷者数などいずれも増加傾向にある。事故の発生原因は、その多くが安全意識の欠如など交通マナーの低下によるものであるが、歩行者や運転者が安全で安心できる道路環境づくりも求められている。				
	評価	生活道路等を整備することにより、安全、安心の道路環境や良好な交通環境の確保ができているので、歩行者や運転者が安心できる環境づくりに貢献している。				
	施策展開の改善点等	交通安全施設の整備を行っても歩行者・運転者等のモラル低下により、事故の減少に繋がらないため、交通安全意識を高めるための施策が求められる。				

指標名		指標に設定した理由					
①	要望件数を一桁にする。	歩行者等の安全・安心を客観的に評価できる。					
②	要望処理率(交通安全施設等)	維持管理の成果の指標(処理数/要望数)					
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	件	10未満	10未満	10未満	10未満	
	実績値	件	22	26	35		
	達成度						
②	目標値	%	95	95	95	95	
	実績値	%	94	84	73		
	達成度	%	99%	88%	77%		
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	臨時地方道整備事業		課名	道路公園課
事業費(千円)	212,148	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	一般改良単独事業		課名	道路公園課
事業費(千円)	5,232	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	一般改良単独事業(出水橋架替)		課名	道路公園課
事業費(千円)	50,000	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	交通安全対策特別交付金事業		課名	維持管理課
事業費(千円)	32,882	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	山之口総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	6	交通・地域安全の推進	作成課名	建設課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	道路における危険因子を取り除き、事故のない安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す。			
	施策の現状と課題	本市の交通事故は、発生件数、負傷者数などいずれも増加傾向にある。事故の発生原因としては、その多くが安全意識の欠如など交通マナーの低下によるもので、事故が予想される危険箇所も多く、歩行者や運転者が安全で安心できる道路環境づくりが求められる。			
評価	市民からの要望、緊急性及び必要性を勘案して、実施箇所の選定を行い、交通安全施設(防護柵・カーブミラー・区画線等)の新設、修繕を実施している。このことは、概ね所期の目的を果たしていると言える。				
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等	特に改善すべき点はない。				

指標名		指標に設定した理由					
①	要望箇所数に対する実施率	市民と協働して危険箇所の解消を推し量り、歩行者や運転者が安心できる道路環境づくりを目指す指標とした。					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	%	90	90	90	90	なし
	実績値	%	95	95	95		なし
	達成度	%	106%	106%	106%		なし
②	目標値						
	実績値						
③	目標値						
	実績値						
③	目標値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	交通安全対策特別交付金事業		課名	山之口建設課
事業費(千円)	1,995	評価	現状維持	施策への貢献度 高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業		
事務事業名		課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方	
事務事業名		課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方	
事務事業名		課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方	

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	山田総合支所	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	建設課	
	基本施策	6	交通・地域安全の推進			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	歩行者や運転手が安心できる道路環境の整備を進める。特に、自転車・歩行者道などの交通安全施設をさらに充実させ、より安全で効率の良い交通環境を整備し、交通事故防止に努める。				
	施策の現況と課題	本市の交通事故は、発生件数、負傷者数などいずれも増加傾向にある。また、交通事故が予想される危険箇所も多く、歩行者や運転者が安全で安心できる道路環境づくりが求められている。				
	評価	緊急性や優先順位を判断し、計画的に交通安全施設の整備することにより、危険箇所(市民からの要望箇所)を概ね改善することができた。 <input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等	交通安全施設の整備に対する要望は増加傾向にあり、緊急性や優先順位を判断し、計画的かつ効率的に対応する。					

指標名		指標に設定した理由						
施策指標	①	交通安全施設要望件数に対する実施件数	実績が端的に表現できる					
	②							
	③							
		目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
	①	目標値	件	9	26	27	/	
		実績値	件	6	6	14		
		達成度	%	67%	23%	52%		
	②	目標値					/	
		実績値						
		達成度						
	③	目標値					/	
		実績値						
達成度								

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	交通安全対策特別交付金事業			課名	山田建設課
事業費(千円)	1,907	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	総務部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	7	消防・救急体制の確立	作成課名	危機管理課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	消防団は、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、各種災害による被害の軽減、初動体制の確立が求められている。消防団装備の整備を進めることは、地域の総合的な防災力の向上を図るものである。また、消防水利の不十分な地域に防火水槽を設置することで、地域住民の安心と安全を確保するものである。			
	施策の現況と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団車両(48台)は、15年以上経過した車両を毎年、3台ずつ更新している。</li> <li>消防団詰所兼車庫(48棟)は、計画的に実施している。用地取得については、地元公民館長等の協力を得ながら実施しているが時間を要している。</li> <li>防火水槽設置については、地元消防団、地域住民の要望に応じて毎年、3基ずつ建設しているが、下水道事業や集落排水事業により道路埋設地が限られている。今後は、大規模災害時の生活用水としての活用が見込まれている。</li> </ul>			
評価	消防団員の安全管理上、事故を防ぐためにも設備と施設の更新は、必要である。消防団員の高齢化が進んでおり、若者の加入を呼びかけるため、設備と施設の更新は、魅力ある組織づくりに寄与している。また、防火水槽設置により地域防災力の向上に寄与している。				
施策展開の改善点等	・詰所建設には建物建設費及び土地取得に多額の経費を要するが、老朽化した詰所が多いため、今後は、市内全域の詰所を対象とした調査を実施し、建設計画を見直す。				
		<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない			

指標名		指標に設定した理由						
施策指標	① 消防団車両整備事業	東日本大震災以降、消防団員の安全管理が重要視されており、火災等の災害に緊急出動する際、事故等の未然防止策として、消防車両、消防ポンプを定期的に更新する必要がある。						
	②							
	③							
		目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
	①	目標値		3	3	3	3	消防団車両現有数48台、購入から15年以上経過車両を毎年3台ずつ更新。
		実績値		3	3	3		
		達成度		100%	100%	100%		
	②	目標値						
		実績値						
		達成度						
	③	目標値						
		実績値						
達成度								

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	消防団車両整備事業			課名	危機管理課
事業費(千円)	23,856	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	消防団施設更新事業(消防団詰所兼車庫建設事業)			課名	危機管理課
事業費(千円)	12,409	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	防災基盤整備事業(防火水槽建設)			課名	危機管理課
事業費(千円)	17,470	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名		評価		課名	
事業費(千円)				施策への貢献度	
事務事業名		評価		課名	
事業費(千円)				施策への貢献度	
事務事業名		評価		課名	
事業費(千円)				施策への貢献度	
事務事業名		評価		課名	
事業費(千円)				施策への貢献度	
事務事業名		評価		課名	
事業費(千円)				施策への貢献度	
事務事業名		評価		課名	
事業費(千円)				施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)	施策への貢献度	
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部局等名	山之口総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	7	消防・救急体制の確立	作成課名	地域振興課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	消防団員は、市民の生命及び財産を火災から保護するとともに、各種災害による被害の軽減、初動体制の確立が求められている。消防団装備の整備を進めることは、地域の総合的な防災力の向上を図るものである。			
	施策の現況と課題	都城市消防団山之口方面隊管轄車両(10台)分のうち、15年以上経過した車両に対し更新を行っている。			
評価	定期的な車両更新を行うことにより、火災や風水害時に円滑な活動が遂行できる。				
	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				
施策展開の改善点等	消防車両の更新については、入札を一括して行う等コスト削減に努める必要がある。				

指標名		指標に設定した理由				
①	15年経過時の消防団車両更新	消防団車両の更新数が的確に把握できる。				
	②					
	③					
目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	-	1	1	1	15年以上経過車両を当該年に更新
	実績値	-	1	1		
	達成度	-	100%	100%		
②	目標値					
	実績値					
	達成度					
③	目標値					
	実績値					
	達成度					

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	消防団車両整備事業		課名	地域振興課
事業費(千円)	9,398	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	高城総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	地域振興課
	基本施策	7	消防・救急体制の確立		
	施策の目的 (取り組みの方向性)	災害に強いまちづくり、危機管理意識の向上を念頭に、地域リーダーである自治公民館長、消防団幹部および地域住民から強い要望のあった地域に防災基盤整備の一環として計画されたものであり、地震に強い耐震性貯水槽を設置していく。 基本的に、災害時の水利確保が困難な場所を優先的に行うが、振興住宅地なども考慮し全体的な計画に基づき設置を行う。 地域の防災力を高めるため、地域防災の中心である消防団設備の充実を図ることを目的としている。 現在、毎年2基設置しており、火災発生時の水利確保に対応している。消防法による高城地区の水利充足率は38%であるため、今後も水利の確保が困難な地区を中心に設置を行う。 但し、民地内に設置している防火水槽について、撤去の要望が増えており、撤去後の水利確保も必要になっている。 また、設置前に地質調査を行うが、予定していた箇所が弱く工費が予算内に納まらず、急遽、設置箇所変更になった例があるので、地質調査については設置前年に行うことが必要ではないか。 地域からの要望や、消防団幹部会の中で水利が希薄な場所については、設置出来ており順調である。 また、長期的な計画のもと、地域の設置状況を把握し整合性のある設置が出来ている。 機器を更新することにより、消防装備の充実と強化が図られ、緊急車両として万全の体制をとることで、団員を含め地域消防団の士気向上が期待できる。 また、年季的に更新出来ているため、順調である。			
	施策の現況と課題				
評価	●順調である    ○概ね順調である    ○進んでいるが順調とは言えない    ○進んでいない				
施策展開の改善点等	設置予定箇所の地質調査を前年に行い、調査後の急な箇所変更をなくす。				

指標名		指標に設定した理由					
①	消防水利充足率(消防法第20条)	水利箇所、集落部人口、地域の面積、などを考慮し、どの場所に水利を確保する必要があるかを判断するため。(目標設置数110基)					
②	年数経過率	15年以上経過した消防用ポンプを更新する。					
③							
	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	基	72	74	76	86	
	実績値	基	72	74	76		
	達成度	%	100%	100%	100%		
②	目標値		3	2	2	7	H28年終了予定
	実績値		3	2	2		
	達成度		100%	100%	100%		
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	防災基盤整備事業(防火水槽)		課名	高城地域振興課
事業費(千円)	12,513	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	非常備消防充実事業		課名	高城地域振興課
事業費(千円)	3,318	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」		部署等名	山田総合支所
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		作成課名	地域振興課
	基本施策	7	消防・救急体制の確立			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	消防水利の充足率(消火栓、防火水槽等の基準に対する割合)は40%台と低い。特に山間部においては、川等の自然水利を利用しており、時期によって安定した水の供給が確保できないこともあり、火災の際に活動の支障となる。そのために防火水槽を整備し、かつ東日本大震災などの災害に備え、震災時にも有効に活用できる耐震性の防火水槽を設置している。また、消防車両等の充実を図ることにより災害時にその性能を発揮し、多くの住民の生命財産を守ることができる。				
	施策の現況と課題	防火水槽建設、消防車両整備いずれも多額の予算を伴う事業ではあるが、住民の生命財産を守るためには不可欠な事業である。防火水槽は年2基を基本に設置しているが、消防水利の充足率(220基)に到達するためにはさらに数十年の時間を要する。しかし、構造上、半永久的構造物であるため、今後も消防水利の基準を満たさない既存の小規模な防火水槽や川等の自然水利とのバランスを考慮し、設置を続けるものである。消防車両は概ね15年単位で更新しているが、消防車両、とりわけ消火機能は日々進歩しており、その性能を考慮しながら今後も整備を図るものである。				
評価	水利バランスの均衡が順次図られている。また、定期的な車両更新により火災時に円滑な消火活動ができる。(平成24年度は消防団車両の更新は無し)					
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					

指標名		指標に設定した理由					
①	消防水利の充足率	消防水利の基準から算出される数値であるため					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	基	100	102	104	114	消防水利更新計画により毎年2基ずつの新設を行う。
	実績値	基	100	102	104		
	達成度		100%	100%	100%		
②	目標値						
	実績値						
	達成度						
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	耐震性貯水水槽設置事業			課名	山田 地域振興課
事業費(千円)	6,349	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業					
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)				施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方				
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)				施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方				
事務事業名				課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)				施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方				

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	高崎総合支所	
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり	作成課名	地域振興課	
	基本施策	7	消防・救急体制の確立			
	施策の目的 (取り組みの方向性)	消防水利の充足率(消火栓、防火水槽等の基準に対する割合)は50%台と低い。特に山間部においては、川等の自然水利を利用しており、時期によって安定した水の供給が確保できないこともあり、火災の際に活動の支障となる。そのために防火水槽を整備し、かつ東日本大震災などの災害に備え、震災時にも有効に活用できる耐震性の防火水槽を設置している。また、消防車両等の充実を図ることにより災害時にその性能を発揮し、多くの住民の生命財産を守ることができる。				
	施策の現況と課題	防火水槽建設、消防団車両整備車両もいずれも多額の予算を伴う事業ではあるが、住民の生命財産を守るためには不可欠な事業である。防火水槽は年2基を基本に設置しているが、上記充足率に到達するためにはさらに数十年の時間を要する。しかし、構造上、半永久的構造物であるため、今後も消防水利のバランスを考慮し、設置を続けるものである。消防車両は概ね15年単位で更新しているが、消防車両、とりわけ消火機能は日々進歩しており、その性能を考慮しながら今後も整備を図るものである。				
評価	水利バランスの均衡が順次図られている。また、定期的な車両更新により火災時に円滑な消火活動ができる。					
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない					
施策展開の改善点等	防火水槽の建設にあたっては、設置場所の選定、工事費用に配慮し、コスト削減に努める必要がある。また、消防車両の更新についても消防局や他市町村の装備も参考にし、コスト削減に努める必要がある。					

指標名		指標に設定した理由					
①	消防水利の充足率	消防水利の基準から算出される数値であるため					
②							
③							
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値		192	196	198	216	381 (消防水利基準数)
	実績値		192	196	198		
	達成度		100%	100%	100%		
②	目標値			0			
	実績値						
	達成度						
③	目標値						
	実績値						
	達成度						

施策を構成する主な事務事業					
事務事業名	防災基盤整備事業(防火水槽建設)			課名	高崎地域振興課
事業費(千円)	11,233	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名	消防団車両整備事業			課名	高崎地域振興課
事業費(千円)	4,473	評価	現状維持	施策への貢献度	高い
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	
事務事業名				課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度	

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業					
事務事業名				課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価		今後の展開の在り方			
事務事業名				課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価		今後の展開の在り方			
事務事業名				課名	
事業費(千円)		次年度予算(千円)		施策への貢献度	
評価		今後の展開の在り方			

平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	消防局
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	7	消防・救急体制の確立	作成課名	総務課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	消防・救助技術の向上と消防体制の充実に努めます。 ・各種災害に迅速に対応するため消防、救助技術の向上を図り、消防関係機関との連携を強化し、消防組織の再編も視野に入れて消防体制の充実に努めます。 救急・救命技術の向上と救急体制の充実、安全安心な地域づくりに努めます。 ・増加する救急要請に対応するための救急設備の充実と救急車到着時間の地域格差解消に努めます。 ・応急手当講習を充実し、自助・共助・公助の体制づくりに努めます。			
	施策の現況と課題	・救急要請は年々増加しており、平成23年の出動件数(7,743件)は平成3年(3,252件)の約2.4倍となった。 ・救急車到着まで10分以上かかる救急件数も増加し、現場到着所要時間に地域格差が生じている。 ・将来を見据えた消防施設、設備の充実や組織体制の確立に加え、応急手当講習を推進し、市民と一体となり、バランスのとれた消防・救急体制の充実、強化に努めていく必要がある。			
評価	・昭和47年に建設された高崎分署は移転計画が進み、災害拠点施設として消防体制の強化が図られた。 ・高規格救急車は更新計画通りに更新され、救急活動が確実なものとなり、市民の安全安心に寄与した。 ・平成24年度も応急手当講習の申込は多く、多数の市民に講習を実施し、市民と一体となった救急体制の充実に図られた。				
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない				

指標名		指標に設定した理由					
①	高崎分署移転事業の実施率	24年度から26年度の計画であり、進捗率が施策指標として適している。					
②	救急車更新計画通りの事業実施	市民の安全安心のために、車両更新計画に基づき定期的に整備することが必要であり、施策指標として適している。					
③	応急手当講習受講者数	救命率の向上のためには、救急現場に居合わせた人による応急手当が重要であり、施策指標として適している。					
目標値と実績値		単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
①	目標値	%			6.4	100	
	実績値	%			6.4		
	達成度				100%		
②	目標値	台	1	1	1	1	
	実績値	台	1	1	1		
	達成度		100%	100%	100%		
③	目標値	人	5,500	5,500	5,500	5,500	
	実績値	人	4,950	5,572	5,539		
	達成度		90%	101%	101%		

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	常備消防事務事業(防火衣更新整備)		課名	総務課
事業費(千円)	5,593	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防施設管理事業(各署訓練塔及び場内舗装修繕)		課名	総務課
事業費(千円)	2,730	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防事務事業(消防用資機材等整備事業)		課名	警防課
事業費(千円)	3,366	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防事務事業(救急訓練用資機材等整備事業)		課名	警防課
事業費(千円)	1,717	評価	休止	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防施設整備事業(高機能指令センター施設部品交換修繕)		課名	指令課
事業費(千円)	7,695	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防施設整備事業(高崎分署移転)		課名	総務課
事業費(千円)	9,165	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防施設整備事業(高規格救急自動車更新事業)		課名	警防課
事業費(千円)	27,710	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防施設整備事業(消防ポンプ自動車等更新事業)		課名	警防課
事業費(千円)	44,394	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名	救急搬送体制強化推進事業(定住自立圏)		課名	警防課
事業費(千円)	315	評価	廃止	施策への貢献度
				高い
事務事業名	常備消防施設整備事業(消防救急無線デジタル化整備)		課名	総務課(H25～指令課)
事業費(千円)	7,189	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名		課名	
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		



平成25年度 施策評価

施策の内容	基本理念	4	「活力あるまち」	部署等名	総務部
	基本方針	2	人が交流する安全・安心のまちづくり		
	基本施策	8	情報通信基盤の整備	作成課名	契約課
	施策の目的 (取り組みの方向性)	国土交通省では、平成13年の「e-Japan 戦略」を受け、公共工事の入札及び契約にITを適用することを内容としたCAL/S/E地方展開アクションプログラムを策定し、各地方公共団体に、電子入札導入の取組みを求めている。 現在、本市においても、ブロードバンドなどのインフラ整備が進みインターネットの利用者が増えており、更に宮崎県が平成18年度に導入した電子入札を市内の多くの企業が利用している状況等を考慮し、入札手続きの透明性の確保、競争性の向上、事務の迅速化等を図るため、インターネットを利用した「電子入札」を導入する。			
	施策の現況と課題	【施策の現状】 契約課で執行する建設工事及び建設工事等に係る委託の入札について、入札手続きの透明性の確保、競争性の向上、事務の迅速化等を図り、公正、安全な電子入札システムを平成24年1月から運用を開始し、「電子入札移行スケジュール」に従い、段階的に拡大している。平成26年4月から全面実施予定 【課題】 電子入札移行スケジュール以上の成果が上がっており、当面の課題はない。			
評価	(行政側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札の電子化により入札の執行に要する時間が短縮される。</li> <li>業者が一層に会する機会がなくなり、談合等の不正行為の抑止にもつながる。</li> <li>システムを通して入札を実施することにより、人為的なミスの危険性が低減される。</li> </ul>			
	(事業者側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所がいながらに入札に参加することができるため、入札に拘束されなくなり、経費節減につながる。</li> </ul>			
施策展開の改善点等	<input checked="" type="radio"/> 順調である <input type="radio"/> 概ね順調である <input type="radio"/> 進んでいるが順調とは言えない <input type="radio"/> 進んでいない 現行の入札執行においては、指名業者数の半数が電子入札対応である場合は、電子入札での執行(紙入札との併用)としている。今後も現行方法を堅持しながら、さらなる周知を図る。 また、現在は電子入札の対象入札を「一般競争入札及び指名競争入札」に限っているが、将来は「随意契約(見積合せ等)」に適用することで更なる透明性の確保と業者への利便を検討する。				

指標名		指標に設定した理由					
①	電子入札執行率①	各年度の総入札案件に対する当該年度の進捗率(入札執行実績)が端的に判断できる					
②	電子入札執行率②	「電子入札移行スケジュール」による各年度対象入札件数に対する当該年度の進捗率(入札執行実績)が端的に判断できる					
③							
施策指標	目標値と実績値	単位	H22	H23	H24	目標値(H29)	参考となる数値等
	①	目標値	件%	539件	413件	100%	平成23年度執行率(10%)
		実績値	件	4件	243件		平成24年度執行率(50%)
		達成度	%	1%	59%		平成25年度執行率(80%)
	②	目標値	件%	19件	222件		平成26年度から全面実施(100%)
		実績値	件	4件	243件		
		達成度	%	21%	109%		
	③	目標値					
		実績値					
		達成度					

施策を構成する主な事務事業				
事務事業名	契約事務費(電子入札対応業者管理システム導入委託)		課名	契約課
事業費(千円)	2,076	評価	現状維持	施策への貢献度
				高い
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度
事務事業名			課名	
事業費(千円)		評価		施策への貢献度

手段の見直しや改善の検討を行う事務事業			
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		
事務事業名			課名
事業費(千円)	次年度予算(千円)		施策への貢献度
評価	今後の展開の在り方		

